

# Market Report

2023年7月号



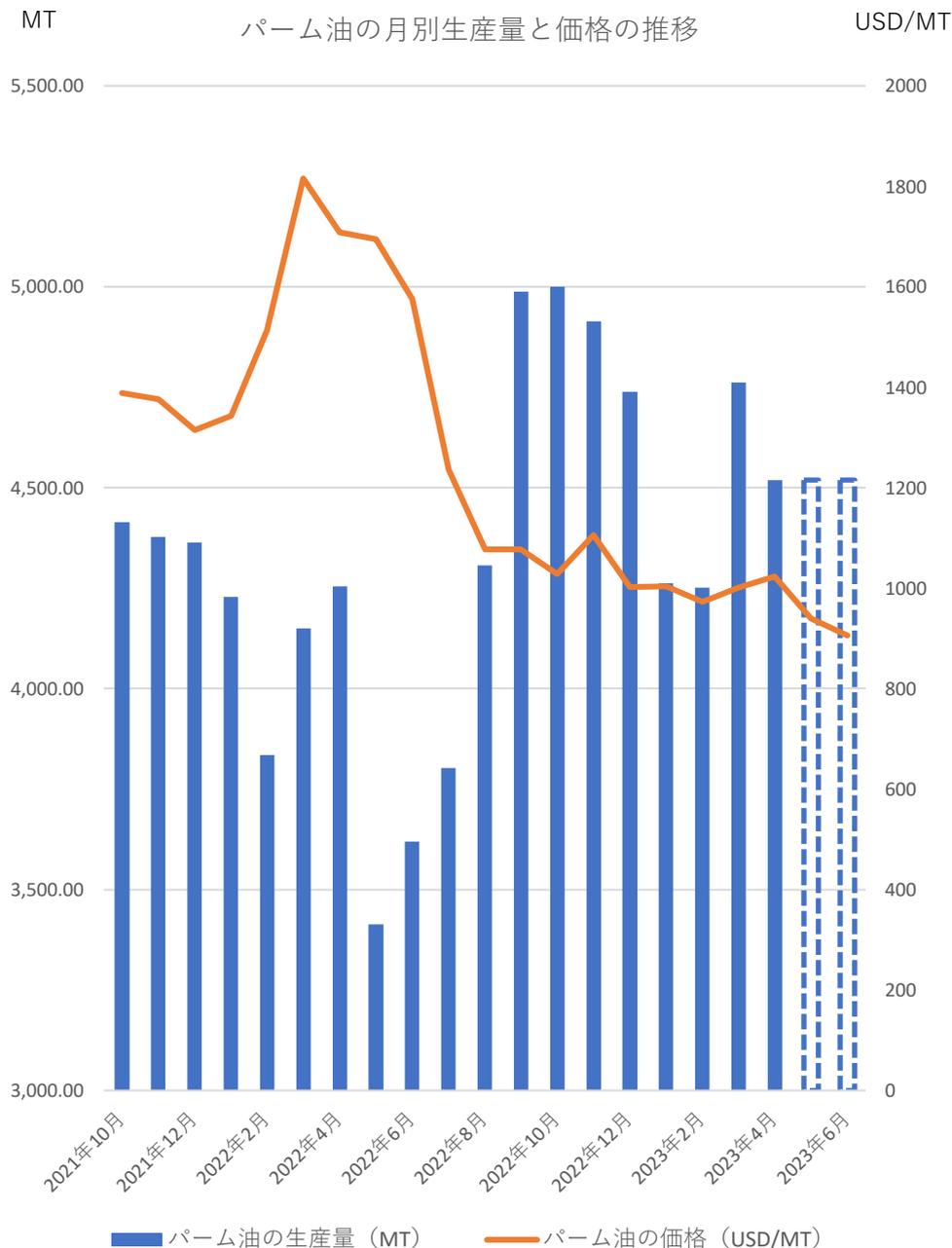
# インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

## 1. 実績

4月のパーム油生産量は季節的要因に加え、イドゥル・フィトリの休暇があったため3月と比較して5.1%（243MT）減少した。しかし2023年4月まで生産量は2022年4月までの生産量を8.1%（1,328MT）上回っている。

## 2. 見通し

2023年7月のCPO価格は挑戦を強いられる可能性がある。これはEU諸国がパーム油ブロック政策を実施し、パーム油の参入を制限していることが影響している。このことからインドネシアのパーム油に対する国際的な貿易圧力、特にEUの森林破壊防止規制（EUDR）を通じて蔓延している圧力はパーム油農家の不安を仰いでいる。インドネシアのパーム油市場の発展に対して政府はインドネシア・パーム取引所の発足を目指している。2023年7月のCPO生産量の予測は4,125MTとなっており、昨年の7月の実績3,465MTと比較すると660MTの増加が見込まれる。



# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

## 1. 実績

2023年5月のインドネシアでのPKS輸出量は390,164MTを記録し、外貨価値は46,972,950USDとなった。4月の輸出量である303,968MTと比較し、28.36%

(86,196MT)の増加となった。

2023年5月の最大の輸出先は日本で輸出量は363,248MT、市場シェアは93.10%であった。

## 2. 見通し

パームヤシの収穫量も順調に伸びており、CPOミルの稼働も前月に比較し増加するものと予想される。

